

さいたま市立内谷中学校
学校だより



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく

平成30年 2月 28日

第446号

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 TEL 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

「感謝」

校長 山浦 麻紀



菜の花

花言葉・・・「元気いっぱい」

2018冬季オリンピック平昌大会が終了しました。男子フィギュアスケートでは、23歳の羽生選手が2連覇で金メダル、宇野選手が銀メダル。スピードスケートでは小平選手が金メダルと銀メダル、高木選手も金メダルと銀メダル、スノーボードハーフパイプでも19歳平野選手が銀メダル獲得等々、幅広い年齢層の日本人選手の活躍が光った大会でした。また、期待を一身に背負ったスキージャンプの高梨選手のメダル獲得、女子フィギュアスケートの宮原選手の大成功、カーリング初のメダル獲得、ジャンプの葛西選手の8回目のオリンピック出場の挑戦など、選手それぞれが抱いた目標を達成することのできた選手も輝きを放っていました。結果はともあれ、日本人のすべての選手のインタビューで出る言葉は、応援や協力してくれた方々への**感謝の言葉**でした。嬉しくても悔しくても感謝の言葉を忘れない選手は立派だと思います。

学校の春（3月）は、まとめの季節であり、別れの季節でもあります。

3年生は、中学校3年間で助け合い励まし合った、友人やクラスの仲間に感謝。お世話になった保護者に感謝。見守って下さった地域の方々に感謝、先生方に感謝の心を持ちながら、残りわずかな中学校生活を過ごしてくれています。

3月1日（木）2日（金）は県公立高校の入試です。中学校3年間に培った力を発揮し、全員が希望の進路に進めることを願っています。そして、その後は卒業式の練習も始まります。心に残る立派な卒業式を迎えて欲しいと考えています。1年生は未来くるワークで地域に出て活躍し、2年生は舘岩に行き一生懸命頑張り、いよいよ学年の総仕上げに入りました。行事や部活動を通して、この1年間で大きく成長してくれたと思います。それぞれ、最上級生、先輩としての自覚や風格も見られるようになりました。

また、3月8日（木）には3年生を送る会が行われます。色々と面倒を見てくれたり、よい手本を示してくれたたりした3年生への感謝の気持ちを込めた送る会になって欲しいと思っています。

「感謝と応援のある組織はよい結果を生み出す」といわれています。1年間のみなさんの様子を見てこの言葉が実感できました。お互いを理解することができて、励ましあうことができることにより、感謝の心が生まれ、その気持ちを素直に表現できる関係こそ理想の集団です。この1ヶ月を更に大切に、4月の新しい出会いに備えてください。

3年生保護者の皆様、長い間学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。今後も引き続き、地域の方として末永く温かく内谷中を見守っていただきますようお願いいたします。

